

若鳩

WAKABATO
 発行所
 高知県立高知小津高等学校
 総務部・PTA事務局
 〒780-0916
 高知市城北町1-14
 TEL 088-822-5270
 FAX 088-823-6387

第104号若鳩

- ・卒業式式辞
- ・卒業生に贈る言葉
- ・PTAより卒業生へのメッセージ
- ・活躍の記録
- ・SSH活動報告
- ・修学旅行
- ・皆勤賞・精勤賞
- ・学校評価アンケート
- ・読書感想文コンクール
- ・合格者数一覧

など

<http://www.kochinet.ed.jp/ozu-h/>

卒業式式辞 『「自律」と「加減乗除」』



校長 濱川 智明

校庭の開成門に春の穏やかな日差しが降り注ぎ、卒業という新たなステージに踏み出す時を迎えました。本日ここに、ご来賓の皆様並びに保護者等の皆様のご臨席を賜り、高知県立高知小津高等学校、通科第七十五回、理数科第五十四回の卒業証書授与式を挙行できますことは、このうえない喜びであり、ご出席の皆様、心からお礼を申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与されました、普通科二百三十八名の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。これまでの三年間、教科学習や探究学習、学校行事、部活動、生徒会活動などを通して自分自身を成長させてきたことと思えます。皆さんが入学した令和三年は新型コロナウイルス感染症の影響でマスクの着用や昼食時の黙食など学校生活において

て制約もあり、大変な高校生活のスタートであったと思えます。入学式での式辞に、「高校は一つの通過点に過ぎず、高校卒業後の自分を思い描き高校生活を送ることが大切である」と、「基礎的な知識や技能はもとより、自分自身で考え判断し行動できる力や、他の人々と協働し課題を解決する力を本校の学びで身に付けてもらいたい」という言葉がありました。活動に制約を受けながらもこの言葉を意識した学校生活を送り、自分の目標に近づくことができたでしょうか。皆さんはそれぞれ自分の置かれている状況で自身を高めるための努力をしてきたと思います。こうして皆さんの顔を見ていますと、その成長した姿を大変うれしく思います。皆さんの成長の裏には、自身の努力があると同時に、共に歩んできた同級生はもちろんです。厳し

くも熱心に指導してくれた先生方、そして皆さんを温かく見守り、育んでくださったご家族があることを、深く胸に刻んで欲しいと思います。本校は今年度、創立百五十年を迎え、皆さんはこの記念すべき年度に卒業することになります。百五十年記念の「若鳩祭」や「体育祭」、「記念式典」などでは、様々な企画を生徒たちが自ら考え計画し、実施してくれました。これまでの引継ぎも未知の事柄に関し、記念事業などを実施するため最上級生としての力を発揮してくれました。そうした皆さんの活躍する姿や取り組みから感じた言葉をここで二つ、これから新たな道に踏み出す卒業生の皆さんに贈りたいと思えます。

まず一つ目は、幾度となく私が伝えてきた本校の教育方針でもある「自律」です。「自律」とは、自らをコントロールし、自らの判断により行動できるということです。令和四年四月から成年年齢が十八歳に引き下げられました。卒業生の全員が次の四月には「大人」として生活することになり、「大人」としての考えや判断が必要となります。「大人」としての「自律」には今まで以上に高い意識が求められます。高校生活で意識してきた以上にしつかりと周りに目を向け、自分が最善と思う方向に進んでください。そして二つ目は、四則演算の「加減乗除」という言葉です。「加」は知識や意見を加え合いより良いものにし、「減」は意見を整理し省くために引き合い、「乗」は知識や経験を掛け合わせ更なる効果を生み出し、「除」は同じ目的に向かって役割を分け合うという意味です。AIや情報システムの発展により、人の役割も変わりつつあります。これからの予測不可能な社会において課題を解決しながら協働していく、そうした社会の大きな変化の中では、自分で適切な情報をつかみ、判断し、行動する力が必要とされます。また、困ったとき、壁にぶつかったときに相談し、お互い助け合うための人と人とのつながり、すなわちコミュニケーション力が必要となります。

皆さんはこの二つの言葉を高校生活の様々な活動とおして実践してきました。また、この二つの言葉は、今後、新たな世界に羽ばたく皆さんにとっても大切な言葉になると思います。本校で学んだことを忘れずに、自分を信じ、失敗を恐れず、周り

と協調しながら自分の選んだ道を歩んでくれることを願っています。

本日ご出席いただきました保護者等、ご家族の皆様におかれましては、卒業生を温かく励まし支えてこられた、これまでの限りない愛情とご苦労に對しまして、深く敬意を表するとともに、今日の日を迎えられたことを、心からお祝い申し上げます。また、これまでいただきましたお力添えに心から感謝申し上げます。とともに、どうか今後とも本校に對しまして、温かいご支援をいただければ幸いです。

結びとなりましたが、本日、ご臨席をいただきました皆様に重ねてお礼を申し上げます。今後の本校の教育に、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

卒業生の皆さん、私たち教職員は、皆さん一人ひとりの健康と活躍を心から応援しています。皆さんとの出会いに感謝するとともに、皆さんのこれからの前途が幸多いものとなることを祈念し、式辞といたします。

令和六年三月一日



三年学年主任

上田 史絵
三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

本当にあつという間の三年間でした。一年生の時の若鳩祭でのホーム企画、二年生での修学旅行、三年生の今年、やっぱり受験シーズンに入ってから皆さんの頑張りにいろいろな場面で一生懸命向き合い、楽しみを見つけ、自分たちなりに工夫をして活動している皆さんの姿に、私自身、感動し、感謝し、励まされました。

皆さんとの三年間は本当に学びの多い時間となりました。ありがとうございます。

いよいよ旅立ちの時ですね。これからも様々な経験をしていくであろう皆さんの人生が、たくさんの幸せと笑顔のあふれるものになりますように、心から願っています。

三―一H主任

乾 鈴子

ご卒業おめでとうございます。三年間を共にした皆さんの卒業、そして船出の瞬間に立ち会えたことを嬉しく思います。コロナ禍の影響を受

け、思い通りにならないことも多い高校生活だったと思いますが、もがきながらも前に進もうとする皆さんの姿にいつも感心し、励まされています。本日皆さんは高校を卒業し、新たな大海原への航海を始めることになりました。これからの長い航路での船主はあなたです。どんな荒波にも負けることなく、力強く前へ前へと進んでいってください。いつまでも応援しています。

熟田津に船乗りせむと月待てば潮もかなひぬ 今は漕ぎ出でな (額田王)

三―一H副主任

梅原 智也

ご卒業おめでとうございます。二年間は新型コロナウイルスの影響によりいろいろなことを我慢してきたはずですが、三年生になってホームマツチや若鳩祭、体育祭などを盛り上げ、リーダーシップを発揮する皆さんの姿に心から感心しました。高校卒業後は、自分の将来について自分で判断し、自分で決めることになりそうです。大きな決断には大きな壁もつきものです。そんな時はぜひ小津高校で培った学ぶ力を生かして頑張ってほしい。高校で出会った仲間はずっと大切にしていってください。皆さんの築き上げていく明るい未来に期待しています。

三―二H主任

松尾 遼

祝いの文を書きながら、私の類は濡れている。研鑽に励

んだ授業、勝利にこだわり続けた学校行事、何気ない日常の世間話。君たちの将来を応援したいという想いと、この幸せな時間が続いてほしいという想いが交錯している。普段は呑気な私に、多くの感情を抱かせる君たちが愛おしくて仕方がない。共に過ごせたことを嬉しく、誇りに思う。

さすがに引き留めるわけにはいかないの、先輩方に倣い、私も餞を送ろう。君たちのさらなる飛躍を願って。卒業おめでとう。

三―二H副主任

三宮 奈三

ご卒業おめでとうございます。一年間という短い間でしたが、皆さんと授業や行事を共にして、楽しい日々を過ごせたことに感謝です。また、ホーム日誌も私の楽しみでした。二日の三年間の思い出トップ3は、部活動、修学旅行、文化祭でした。仲間との出会いや、共に笑ったり苦しんだりした日々も全てがかけがえのない思い出となりましたね。

この先も色々なことがあると思いますが、常に希望を胸に抱いて、自分らしく歩んでいかれますように。

三―三H主任

山崎 功子

ご卒業おめでとうございます。皆さんとは三年生になってからの付き合いでしたが、一年間、ともに充実した日々を過ごすことができました。三―三Hは、学習には真面目に取り組み、行事などは

思いっきり楽しむ、気持ちの良いクラスで、人を大切にすることができ、前向きなエネルギーにあふれていました。百五十周年記念のタイムカプセルを開ける二十年後、笑顔で集まりたいですね。これから、自分の人生と世界をより豊かなものにしていくください。ずっと応援しています。Your future is in your hands!

三―三H副主任

山中 靖

ご卒業おめでとうございます。コロナ対策の取り組みから、次第に通常の日々を取り戻しつつあるなか、皆さんの高校生活は様々な出会いと体験があったことと思います。百五十周年という節目の年に高校三年生であったということも記憶に残ることだと思います。

三Hは若鳩祭や体育祭、ホームマツチ、遠足などとても活発で協力的なクラスで、各行事などにおける団結力はとても素晴らしいものでした。これからは、自分の人生について真剣に考えて常に前向きに生きていってほしいと思います。いろいろな出来事に出会いかもしれませんが、努力を続けてください。

三―四H主任

澤松 千佐

ご卒業おめでとうございます。全員が揃うことが難しいクラスでしたが、ホームマツチや文化祭などの学校行事ではお互いに支え合い、励まし合いながら一致団結して取り

組むことができましたね。そんなみなさんの姿を微笑ましく思っていました。

三年間の高校生活では不安や悩みを抱え、苦しい日々を過ごしたこともあったと思いますが、それを乗り越えられた自分を褒めてあげてください。辛い経験も失敗もきつとこれからのみなさんの成長の糧となるはずですよ。卒業はゴールではなく、次へのスタートです。いつかまた大きく成長したみなさんに会える日を楽しみにしています。

三―四H副主任

田中 卓史

先日、十数年ぶりに近くの山に登りました。山頂からは市内が一望でき、景色を見ながらふだん自分が生活している場所をこんなふうに見下ろしている機会がなくて新鮮な気持ちになりました。

目の前の事に一生懸命取り組むことはもちろん大事ですが、時には広く全体的な視野で自分が今いる場所や目標に到達するまでの道筋、そして自分自身を眺めてみることで新たに見えるものがあるかもしれないですね。

ご卒業おめでとうございます。前途洋々たる皆さんの幸せを心よりお祈りしています。

三―四H副主任

森内 恭平

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。三年四Hの皆さん、一緒に過ごす時間はとても短かったですが、真剣に進路に向けた取り組みに

邁進されている様子は非常に印象に残っています。これからはそれぞれの道で自己実現を成し遂げていく卒業生の皆さんに、一言だけ。「一事が万事」。小さなことがすべて大きなことにつながっています。「小さなことからコツコツと」成長の糧を積み上げていってください。

三二五H主任

村田 静枝

ご卒業おめでとうございます。みなさんと共に駆け抜けたこの一年。時間は待ってくれず、楽しいことばかりではなく、厳しく苦しいことすらも、ほんのり過ぎ去ってしまう、高校最後の一年で。皆さん一人ひとりが精一杯全力で取り組み、力を合わせて難局をも乗り越えてゆく姿がそこにありました。そして、一人ひとりが経験から学び、自分自身と向き合い、これから進む道を見いだす姿にも、確かな成長を感じていました。皆さんが願う場所へ、願う姿に届くよう、その手で夢を高く高く空へと打ち上げてください。

三二五H副主任

秋元 杏理

ご卒業おめでとうございます！振り返ればあつという間の三年間だったのではないのでしょうか？

二年間、五Hの副主任としてまた学年団として、授業や学校行事を通して楽しい時間を過ごすことができました。この高知小津高校で出会った友人は今後の人生でもかけがえのない存在になります。これから出会う人との縁も大事

にしながら、自分の世界を広げていってください。そして、いつまでも学び続けてください。みんなの更なる成長と活躍を期待しています。

三二六H主任

和田 智有

ご卒業おめでとうございます。様々な制限が少しずつ解除され、気づけば体育祭も文化祭も修学旅行も存分に楽しめた学年でしたね。どの行事でもリーダーシップと団結力を発揮し、ひたむきに頑張る皆さんの姿にいつも感動させられました。多くの楽しい思い出をありがとうございました。

三二六H副主任

山中 寿紀

卒業おめでとうございます。生物の授業中に海外旅行の話をしたことを覚えていませんか？これからの社会は、広い視野で物事を見て考える力が必要で。ぜひ一度、日本を出て諸外国の様子を肌で感じてください。世界には様々な人が様々な文化・環境の中で

生活しています。異文化の風を吹かれながら、日本と世界について考え、視野を広げてください。

三二七H主任

廣田 秋俊

個性豊かな皆さんと過ごした日々は、とても楽しく充実していました。皆さんが理数科で学んだことは、今後の人生に生きてくると思います。これからは高校よりもずっと大きな世界へ出ることにするため、周りの目が気になったり自分のやりたいことがわからなくなったりすることもあると思います。しかし、他人は他人、自分は自分です。自分の意志を強く持ち、自分と向き合いながら充実した日々を過ごしてください。皆さんのことをずっと応援しています。

三二七H副主任

堀内美千子

ご卒業おめでとうございます。七ホールの皆さんと過ごした一年間を振り返ると、授業やホーム、学校行事等での明るく元気な姿が思い浮かびます。特に、若鳩祭や秋の遠足はとても思い出深いです。皆さんの前向きな姿に刺激を受

け、私も頑張ってみようという気持ちになりました。本当にありがとうございました。本校理数科で学び、体験したことや皆さんの糧となればうれしうです。新しい世界での出会いをおして、さまざまなことに挑戦し、新たな自分を発見してください。皆さんのご健康とご活躍を心から応援しています。

三年団

和田真由美

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。高校生活をお持ちでしょうか。皆さんの人生はこれからさらに花開いていき、社会に貢献し、社会に必要とされ、生きがいを見つけていくことになりま。自分の可能性を高めていくためには勉強することが一生懸命です。ずっと学び続けていく、その素地がこの小津高校三年間で少しでも定着すること、それが私の願いです。お互いに、現状に甘んじしないで、成長を続けていきましよう。そして、元気な顔をまた見せに来てください。

三年団

池田 数人

ご卒業おめでとうございます。小津高校へ入学してきたときには描いた高校生活をおくることはできましたか。学校行事も少しずつ制限がなくなり、最後の若鳩祭は一番の思い出になったと思います。いろんな場面仲間と協力し、努力する皆さんの姿を見て頼もしく感じたことを覚えていいます。これから新しい場所での生活が始まりますが、自分で選んだ道を信じて進んでください。応援し

ています。

三年団

横江 忠彦

ご卒業おめでとうございます。これからの人生、今までの以上に様々な苦難・困難・災難が待っているかもしれない。しかし、難が無いのは無難な人生、難が有るのは有難い人生。難が無ければそれも良いかもしれませんが、そんな事はありえないと思いません。どんな時にも有難いという感謝の気持ちをもって乗り越えてください。皆さんと出会えたことに感謝をしています。有難う！

三年団

山本 史子

ご卒業おめでとうございます。長いようで短かった高校生活。三年生の皆さんは、どのような心境でしょうか。バタフライエフェクトという言葉があります。これには「蝶の羽ばたきのように非常に小さな出来事が、最終的に大きな出来事につながる」というような意味があります。皆さんが高校生活の中で続けてきた努力の数々が、今、大きな成長につながっているのではないのでしょうか。

これからの皆さんの不屈の羽ばたきが、大きな流れとなるよう願っています。

三年団

小笠原 剛

卒業おめでとうございます。自分で決めた道に自信を持って、一歩一歩力強く前に進んでください。小津で培った力、勇氣、心でさらなる成長を期待します。みんな頑張れ。

PTAより 卒業生への メッセージ

【娘へ】

卒業、おめでとう。正義感が強くて真面目で負けない気が強くて、何より優しさが大きい貴女は、母の目標とする姿です。貴女の頑張りを一番傍で見守れた母は、世界一の幸せ者です。これからも一生、貴女にとって一番の味方、理解者、相棒で居させてください。卒業、本当におめでとう。貴女は一生、母の『宝者』です。

母より

【息子へ】

卒業おめでとう。マスク生活で幕を開けた学校生活。級友の顔も十分わからず様々な制限が課された中でどんな青春時代を過ごせるのだろうと心配していました。けれど新しい友達もでき新しい部活にチャレンジもし、きつと充実した高校生活であっただろうと想像します。母から見てまだまだ頼りないあなたですが、思えば他人を悪く言った事もなく、どんな状況でもいつも優しい心でいられる所はあなたの強みになるのかもしれません。これから期待し応援し続けます！頑張り〇っちゃん！

母より

【息子へ】

反抗期を絵に描いたような表情を見せる時と、まだまだ子どもだなという表情を見せる時があり、親として戸惑うこともあり、悩むことも未だに多くの事を自分で決め、行動できないようになりました。そういえば、もうあなたは十八歳になつていたんですね。本当は、もうちよつと子どもで居てもらいたい気持ちがあるのも本音かな。でもそれは、気持ちだけにして、これから夢に向かって歩いて行く背中を静かに応援しています。

卒業おめでとう。
父母より

【息子へ】

卒業おめでとう。勉強や部活や日常生活で自分にとって大事なものを慌てることなく考えしつかり向き合っている姿に成長を感じ親として嬉しい限りです。生まれてきてくれてありがとうございます、たくさん楽しませてもらっています。悩んだり迷ったりしながらも自分のペースで思う方向に進んでみてください、きつと新しい世界が開けるよ。応援しています。

母より

【娘へ】

卒業おめでとう。振り返れば、あつという間の三年間でした。中学から続く感染症対策の中、高校生活でも楽しみにしてきた学校行事や頑張ってきた部活動の試合が中止になる事もありました。でもそんな制限も三年生になる頃には次第に緩和され、より一層の喜びを感じる事も出来ましたね。いい先生方や沢山の友達に恵まれ、「小津高校にきて良かったー」ってよく言っていましたね。

これから先の人生にも様々な素晴らしい出来事や辛い試練もあると思いますが、明るいあなたならきっと大丈夫でしょう。これからもずっと応援しています。

母より

【息子へ】

卒業おめでとう。コロナ禍の影響を受けてエンジョイできたとは言えない三年でした。そんな毎日でも、勉強や部活に真面目に取り組み、努力を続け、希望大学の合格を勝ち取った君のことを誇りに思います。父に似て心配性の君は、これから始まる新生活に不安を感じていることでしょう。でも、将来を見据え、努力できる君なら大丈夫です。過去の頑張りが今の自分を支えてくれている様に、今、これからの頑張りが未来の君を支えてくれます。誰のためでもない、自分の人生を丁寧にしっかりと生きてください。君には、明るく充実した未来が待っています。失敗を恐れず、挫けず、自信と希望を持って歩んでください。そして、いま、現在を楽しんでください。

父母より

【息子へ】
卒業おめでとうございます。高校生活は勉強と部活との両立等大変なこと多かったと思います。卒業の今、振り返ってみたらどうですか。満ちた生活を送っていたのではないのでしょうか。挫折を乗り越え自分自身と向き合い歩んできた結果が今のあなたでありとても誇りに思います。素敵な仲間や友達にも出会えましたね。未来はあなたを待っています。いろいろ経験し、考え、自分のものにし、ぐんぐん成長して人生を楽しんでください。応援しています。

母より



【息子へ】

卒業おめでとう。

小さいころ、好きで始めたスポーツ。いろんな出会いがあり、その中でいろんなことを学び、考え、喜び、そして高校生活最後には、自分との葛藤に苦しんだ日々だったように思います。真面目で負けず嫌い、悩みを内に秘めて外へ出せない性格は、周りから近寄りやすい人と思われていたのかもしれない。もう少し器用になれるといいのにね。

自分で決めて入学した小津高校。先生方をはじめ、部活の先輩、後輩、友達に恵まれ、支えられてきました。そのことへの感謝を忘れることなく財産にして、卒業後もたくさんのお会いがあると思えます。人との出会い、チャレンジしたいことへの出会い、自分自身の人生は一度きり。楽しいと思える人生でありますように。

母より

【娘へ】
卒業おめでとう！充実した高校生活を送れたでしょうか？田舎の少人数の学校から一人でマンモス校へ入学し、不安・心配が大きかったと思います。それでも、部活動や生徒会執行部への参加を通じて、いろいろな人たちとの交流の中で、自分を高めていく姿を頼もしくも、少し寂しい気持ちで見ている。進学をせずに、資格を取り自分のやりたいことへ挑戦することを応援することにしたのも常に何事にも全力で努力する姿を見ていたからです。努力した人がすべて報われるとは限りませんが、成功した人は皆、努力しています。料理することが好きだから、ではなく、その根底にある、お年寄りや、入院患者においしい料理を食べてもらいたい！という気持ちをお忘れず、次のステージでも頑張ってください！

父より

【息子へ】

卒業おめでとう。

高校入試と専門学校への進学を決めたときは驚きと不安がありました。高校生活はどうでしたか。普段学校の様子を聞いてもそつけない返事が多くて教えてくれなかったけど、新しくできた友達や先生にも恵まれ充実した学校生活を送れたと思います。

部活も途中で投げ出すこともなく最後まで続けたあなたを誇りに思います。県体の時は仲間と一緒にあきらめなかったからこそ勝ち得たもので一生の宝！お母さんの自慢の息子です。

これから新たな道に進んで夢を叶えるあなたです。が唯一心配なことが、それは朝が苦手ということ。地元を離れ一人暮らしをするあなたが心配でなりません。新しい生活に慣れるまでしんどいと思うけど頑張れ!!あなたの成長を楽しみにしてるしずっと応援しています。未来に幸あれ。

母より

【息子へ】
真新しい制服に身を包み、緊張した顔で入学式を迎えてから早くも三年が過ぎ、卒業の時が来ました。勉強・部活・行事と充実した高校生活でかけがえのない思い出ができた事でしょう。この三年間の経験と頑張りはこの後の大学生活、その後の人生の糧になるはずです。

未来は前途洋々。将来の夢に向かって色々なことに挑戦して楽しんでください。

母より

【息子へ】

卒業おめでとう。あつという間の三年間でしたね。コロナ禍で行動様式が大きく変わった中の高校生活。その中で、部活に励み友達との交流を通じ、たくさんの思い出ができたと思います。

部活の試合では、最後まであきらめない姿は保護者も一丸となって応援しましたね。仲間と共に切磋琢磨した経験は宝物です。

これからは感謝の気持ちをお忘れず、自分の未来に向かって突き進んでください。

母より

活躍の記録

【書道部】

◆第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会出場
保木 円香 (3-1 H)
石川 結理 (3-2 H)
保木 萌 (3-2 H)

◆第17回全国高校生大作書道展
石元 萌愛 (3-5 H)

◆第75回全国学生書道展
藤本 晴 (2-1 H)

◆第75回記念賞
池澤 未唯 (2-5 H)

◆全国学生書道展優秀賞
保木 円香 (3-1 H)
石川 結理 (3-2 H)
北村 芽生 (3-2 H)
保木 萌 (3-2 H)

○半切1/2の部
池澤 未唯 (2-5 H)

◆第18回全国高校生(書道)S-1グランプリ
藤本 晴 (2-1 H)
池澤 未唯 (2-5 H)

○個人臨書の部
まほろば賞
宇根 瑞希 (1-1 H)

◆第28回全日本高等学校書道コンクール
藤本 晴 (2-1 H)
全日本高等学校書道教育研究会賞
保木 円香 (3-1 H)

○半紙の部
大賞

○画仙紙の部
準大賞
池澤 未唯 (2-5 H)

◆第62回伊勢神宮奉納書道展
高橋 瑞奈 (3-3 H)

伊勢神宮崇敬会賞
保木 萌 (3-2 H)
石元 萌愛 (3-5 H)

【美術部】★美術選択生
◆第35回高知県読書感想画コンクール
高等学校の部
入選
小松 真子 (2-1 H)

◆第2回未来の絵金コンテスト
一般の部
入賞
★西田 楓音 (1-5 H)

【音楽部】
◆第75回高知県高等学校連合音楽会
合唱部門
金賞(高知県高等学校合同合唱団)
廣井 嬉美 (2-2 H)
寺村 優花 (2-3 H)
弘田 理子 (1-4 H)
山本 愛莉 (1-7 H)

◆第47回全日本アンサンブルコンテスト高知県高等学校予選大会
フルート三重奏
銀賞
中村 水優 (2-1 H)
森澤 亜衣 (1-1 H)
下村ななみ (1-2 H)

【吹奏楽部】
◆第47回全日本アンサンブルコンテスト高知県高等学校予選大会
フルート三重奏
銀賞
中村 水優 (2-1 H)
森澤 亜衣 (1-1 H)
下村ななみ (1-2 H)

○クラリネット七重奏
銀賞

林 桃花 (2-2 H)
西峯 季咲 (2-6 H)
森本 優奈 (2-7 H)
松本 堇 (1-3 H)
小川 花 (1-4 H)
高田早耶佳 (1-6 H)
鍋島 彩華 (1-6 H)

○木管三重奏
金賞(代表)
中村 水優 (2-1 H)
森本 優奈 (2-7 H)
清水 遥輝 (1-1 H)

○サクソフォン七重奏
金賞(代表)
今橋 由実 (2-3 H)
村越 楓花 (2-3 H)
大元 彩奈 (2-7 H)
武村 紗弥 (1-2 H)
安岡 夢音 (1-2 H)
高橋 愛花 (1-3 H)
小笠原心春 (1-4 H)

○金管七重奏
金賞
西山 流碧 (2-2 H)
鎌倉 充生 (2-3 H)
廣瀬 天音 (2-7 H)
又川 穂香 (2-7 H)
田村 美桜 (1-1 H)
山下 倖明 (1-5 H)
山本 愛莉 (1-7 H)

○金管八重奏
銀賞
西山 流碧 (2-2 H)
鎌倉 充生 (2-3 H)
廣瀬 天音 (2-7 H)
又川 穂香 (2-7 H)
塩田くるみ (1-1 H)
川崎なつみ (1-2 H)
西山 敦 (1-2 H)
山本 愛莉 (1-7 H)

○打楽器四重奏
金賞(代表)
辻 愛未 (2-4 H)
濱田ことね (2-4 H)
佃 健司 (1-2 H)

◆都築 砂羽 (1-4 H)
◆第47回全日本アンサンブルコンテスト高知県大会
高等学校木管三重奏
銅賞
中村 水優 (2-1 H)
森本 優奈 (2-7 H)
清水 遥輝 (1-1 H)

○高等学校サクソフォン七重奏
金賞(代表)
今橋 由実 (2-3 H)
村越 楓花 (2-3 H)
大元 彩奈 (2-7 H)
武村 紗弥 (1-2 H)
安岡 夢音 (1-2 H)
高橋 愛花 (1-3 H)
小笠原心春 (1-4 H)

○高等学校打楽器四重奏
銅賞
辻 愛未 (2-4 H)
濱田ことね (2-4 H)
佃 健司 (1-2 H)
都築 砂羽 (1-4 H)

【放送部】
◆第32回高知県高等学校秋季放送コンテスト
朗読部門
第1位
江西帆帆子 (2-3 H)
第3位
飯沼 大智 (2-3 H)
入賞
松本菜々佳 (2-2 H)

【フォークソング部】
◆第11回高等学校軽音楽発表会
審査員特別賞
ベルフェゴール
岡崎 永佳 (2-1 H)
大原稜 一朗 (2-2 H)
結城 颯雅 (2-6 H)
篠原 虎珀 (2-7 H)

◆第26回高知県高等学校軽音楽演奏会軽音楽審査員特別賞
ベルフェゴール
岡崎 永佳 (2-1 H)
大原稜 一朗 (2-2 H)
結城 颯雅 (2-6 H)
篠原 虎珀 (2-7 H)

【写真部】
◆令和5年度高知県高等学校総合文化祭写真部門第43回高知県高等学校写真展
奨励賞
矢野 夏海 (2-4 H)

【図書部】
◆第27回高知県高等学校新聞コンクール
特別部門
奨励賞
前田 萌 (3-1 H)
伊東 沙起 (3-3 H)
岡林陽奈保 (2-2 H)
下村 知輝 (2-3 H)
春日このみ (2-6 H)
山本 穂香 (1-3 H)
木戸 真緒 (1-6 H)
高田早耶佳 (1-6 H)

【将棋囲碁部】
◆第32回全国高等学校文化連盟将棋新人大会高知県予選
女子個人戦
第2位
岡村 彩絢 (2-7 H)
◆第54回高知県学生将棋選手権
女子の部
第1位
岡村 彩絢 (2-7 H)

◆第20回四国地区高等学校文化連盟将棋選手権大会
女子個人戦
出場
岡村 彩絢 (2-7 H)

◆第32回全国高等学校文化連盟将棋新人大会
女子個人戦
出場権獲得
岡村 彩絢 (2-7 H)

○男子個人戦
出場権獲得
太内 秀洋 (2-7 H)

【新聞部】
◆第27回高知県高等学校新聞コンクール
優良賞
立花 輝良 (2-1 H)
大原稜一朗 (2-2 H)
寺村 優花 (2-3 H)
西本 真未 (1-2 H)

【男子バスケットボール部】
◆令和5年度高知県高等学校バスケットボール冬季選手権大会
ベスト4
石川 舜也 (2-1 H)
田内 羅夢 (2-2 H)
溝口 侑弥 (2-2 H)
下元 輝 (2-3 H)
井上匠太郎 (2-4 H)
甲斐凜太郎 (2-5 H)
宮尾 颯翔 (2-5 H)
小原 行勝 (2-6 H)
山本 悠稀 (2-6 H)
堀田 琉希 (2-7 H)
池 蒼輝 (1-1 H)
小串 健悟 (1-1 H)
小松 海聖 (1-3 H)
大迫 瑠門 (1-4 H)
竹村 瑠瞬 (1-5 H)
萩野 太一 (1-7 H)

【女子バスケットボール部】
◆令和5年度高知県高等学校バスケットボール冬季選手権大会
ベスト8
田中 亜子 (2-2 H)
松井 凜 (2-4 H)
中平 衣莉 (2-5 H)
笹岡 日向 (2-6 H)
西 音羽 (2-6 H)
下司 桃佳 (1-1 H)
南 皐菜 (1-1 H)
山本莉理子 (1-1 H)
片岡 彬梨 (1-5 H)
山下 真依 (1-5 H)
川添 優理 (1-6 H)

【男子バレーボール部】
◆令和5年度高知県高等学校バレーボール秋季大会
ベスト8
千頭 佑矢 (2-1 H)
須賀 陽道 (2-2 H)
白石 光 (2-3 H)
山崎 陽登 (2-3 H)
島崎 晃輔 (2-5 H)
齋藤 知衣 (2-7 H)
中藤 楓伽 (2-7 H)
近藤 優樹 (1-2 H)
山本 光 (1-2 H)
植村 英太 (1-4 H)
川崎 大由 (1-5 H)
岡崎 結斗 (1-6 H)
南 陽菜 (1-6 H)
岡崎 陽美 (1-7 H)
和井 勇樹 (1-7 H)

【女子バレーボール部】
◆令和5年度高知県高等学校バレーボール秋季大会
ベスト8
野々宮志穂 (2-1 H)
多田 美涼 (2-2 H)
松下 珠妃 (2-2 H)
山崎 綾香 (2-3 H)

【バドミントン部】
◆令和5年度高校秋季バドミントン選手権大会兼全国高等学校選抜バドミントン選手権大会県予選
女子団体
第4位
山根 未来 (2-3 H)
加納 柚葉 (2-4 H)
田中 柑菜 (2-4 H)
濱崎りんご (2-4 H)
川崎 那奈 (2-7 H)
岡林 柚七 (1-1 H)
山内 瀬菜 (1-3 H)
門田菜々恵 (1-4 H)
土居 珠輝 (1-5 H)
山崎妃茉莉 (1-5 H)

【ソフトテニス部】
◆令和5年度高知県高等学校ソフトテニス冬季大会
男子団体戦
第4位
野本 莉玖 (2-6 H)
松岡 徳人 (2-6 H)
田島 勢大 (1-2 H)
根口 盛梧 (1-3 H)
横江 一清 (1-3 H)
橋本 蓮史 (1-4 H)
森本 龍輝 (1-5 H)
宮本 蒼太 (1-6 H)

【女子剣道部】
◆令和5年度高知県高等学校剣道秋季新人大会
女子団体
第3位
久保 鈴 (2-1 H)
久保 蘭 (2-3 H)
久保 蘭 (2-3 H)
久保 蘭 (2-3 H)
久保 蘭 (2-3 H)
山下 杏 (1-3 H)

【卓球部】
◆令和5年度総合個人リーグ卓球大会
1部シングルス
第2位
濱田 尚人 (3-1 H)

【サッカー部】
◆高円宮杯JFA U-18サッカー高知県リーグ1部2023
第4位
燃ゆる感動かごしま国体(特別国民体育大会) サッカー競技
少年男子
出場
山本 滉太 (2-2 H)
横谷 隼人 (2-4 H)

【ライフル部】
◆令和5年度第2回四国高等学校ライフル射撃競技新人大会兼第43回全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会
○ビームピストル女子60発競技
第3位
山本 穂香 (1-3 H)
○ビームライフル少年女子立射60発競技
出場
夕部 吏穂 (2-3 H)
原 有由 (2-5 H)
中西 優花 (1-2 H)

【男子ソフトテニス部】
◆令和5年度高知県高等学校ソフトテニス冬季大会
男子団体戦
第4位
野本 莉玖 (2-6 H)
松岡 徳人 (2-6 H)
田島 勢大 (1-2 H)
根口 盛梧 (1-3 H)
横江 一清 (1-3 H)
橋本 蓮史 (1-4 H)
森本 龍輝 (1-5 H)
宮本 蒼太 (1-6 H)

【女子剣道部】
◆令和5年度高知県高等学校剣道秋季新人大会
女子団体
第3位
久保 鈴 (2-1 H)
久保 蘭 (2-3 H)
久保 蘭 (2-3 H)
久保 蘭 (2-3 H)
久保 蘭 (2-3 H)
山下 杏 (1-3 H)

【卓球部】
◆令和5年度総合個人リーグ卓球大会
1部シングルス
第2位
濱田 尚人 (3-1 H)

◆高知県高校1年生卓球大会
男子シングルス
第1位
大友銀次郎 (1-6 H)

【ライフル部】
◆令和5年度第2回四国高等学校ライフル射撃競技新人大会兼第43回全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会
○ビームピストル女子60発競技
第3位
山本 穂香 (1-3 H)
○ビームライフル少年女子立射60発競技
出場
夕部 吏穂 (2-3 H)
原 有由 (2-5 H)
中西 優花 (1-2 H)

◆令和5年度高知県高等学校ライフル射撃競技冬季選手権大会
○ビームピストル女子60発競技
第1位
山本 穂香 (1-3 H)
○ビームライフル少年男子立射60発競技団体
第1位
木村 鷹雅 (2-1 H)
内川 虎春 (2-7 H)
味元 鷹斗 (2-7 H)

【その他】
◆第14回全国高等学校選抜スポーツクライング選手権大会
出場
比嘉 瑛昇 (1-7 H)
◆令和5年度人権作文コンテスト高知県大会
入選
竹内 涼菜 (2-1 H)

◆令和5年度総合個人リーグ卓球大会
1部シングルス
第2位
濱田 尚人 (3-1 H)

◆令和5年度人権作文コンテスト高知県大会
入選
竹内 涼菜 (2-1 H)



令和五年度SSH活動の概要

第IV期SSH経過措置二年目となる令和五年度も、もうすぐ終わろうとしています。これまでのSSH活動を引き続き、Society 5.0を担う次世代の人材育成を目指して探究活動に取り組んできました。今号では、十一月以降に取り組んだSSH活動についてご紹介いたします。

SSH課題研究活動の様子

◆普通科一年生

○「地域フィールドワーク」

十一月十七日(金)に、「地域フィールドワーク」を実施しました。普通科一年生が七つの分野(①ものづくり系、②地球科学・環境・エネルギー系、③農林・水産系、④流通・経済・マーケット系、⑤医療・衛生・福祉系、⑥まちづくり・観光系、⑦ものしらべ系)に分かれ、高知県内の企業等を訪問し、講演や見学等を通して、企業の特徴や強



ポスター作成中



看護学部学生のプレゼンを聴いている様子

み、高知県の地域課題解決に向けた取組を学びました。

帰校後は、個人で振り返りを行った後、グループで意見交換や情報共有を図りました。意見がまとまったグループから、二月九日(金)のクラス発表会に向けて、ポスター作成に取り掛かりました。

◆普通科二年生

総合的な探究の時間

○「課題研究の進捗状況」

夏期休業中から始めたアンケート調査、インタビュー訪問、現地調査、実験等によって得られたデータを分析し、研究をさらに進めました。十二月七日(木)には、高知大学や高知県立大学の大学生が本校を訪問し、発表用のスライド作成に向けてアドバイスをくれました。



大学生がアドバイスをしている様子

二月一日(木)の中間クラス発表会を通して得たことを生かして、今後は研究論文の作成に取り組んでいきます。

◆理数科一年生

理数探究基礎

○「ミニ課題研究II」

二学期は、物理・生物・地学・数学の各分野に分かれてミニ課題研究IIに取り組んできました。それぞれ分野でリサーチクエスチ

ョンや仮説を立て実験・実習に取り組み、その成果をスライドにまとめて発表を行いました。発表の仕方や質疑応答の様子を見ると、一学期よりも堂々としており、成長した姿が見られました。

ミニ課題研究の取組を通して、幅広い分野での実験技能の習得や具体的な研究の進め方を学ぶことができたとおもいます。二年生から始まる課題研究で、これらの経験を生かして、一杯取り組んでくれることを期待しています。



ミニ課題研究II発表会の様子

◆理数科二年生 課題研究

○「課題研究中間発表会」

課題研究テーマ発表会以降、四領域(物理三・化学三・生物四・数学一)計十一グループで課題研究に取り組んできました。

課題研究中間発表会では、実験活動等で得られた成果や研究の進捗状況を発表しました。この発表会で

の評価・助言等を参考に、年度末に向けてさらに研究を進めていく予定です。

◆「OZUサイエンス」

理数科二年生

OZUサイエンス地学

○「化石を調べる」

十二月十四日(木)に、石灰岩に含まれる化石の観察と植物化石の模擬採集を行いました。

石灰岩については、はじめ肉眼では模様のようには見えなかったフズリナ化石(有孔虫のなかま)を水で濡らしたり、ルーペを使ったりして観察しました。フズリナの化石が小豆くらいの大きさで、内部に複雑な構造を持っていることなどを確認しました。

植物化石の模擬採集で扱った泥岩は、栃木県北部塩原にあった湖に数十年前に堆積したものでした。泥岩は比較的柔らかく、軽くたたいて割ることができ、高い確率で植物化石を取り出すことができました。植物化石を初めて見る人も多く、植物化石の葉の部分の細部の様子を観察し化石の美しさをみんなで共有できました。

様々な生物がどのような環境で生きていたかを考えたり、化石の同定(植物の種類を決める)において活発な議論をするなど、主体的な活動ができました。



植物化石の模擬採集の様子

◆「短期集中体験ゼミ」
◆工業技術体験ゼミ

十一月十三日(月)に、「工業技術体験ゼミ」を実施しました。高知市布師田にある高知県工業技術センターで、十名の参加者が三コースに分かれて研修しました。

まず、高知県工業技術センターの概要について説明していただき、高知県の状況や企業の取組について知ることができました。その後、本校卒業生の瀧石研究員から、高校や大学での取り組み方や研究の楽しさについて話を聞きました。そしてセンター所内を回り、高度な検査機器の見学をさせていただきました。体験学習の「清涼飲料水の分析と試作」のコースでは、「食品の成分と味覚」をテーマとして、「甘味、塩味、酸味、苦味、うま味、塩などの呈味成分に関する試

験や分析を行い、試験結果をもとに清涼飲料水を試作しました。その際に物質量や濃度の計算、中和滴定の手法など、高校の授業で学習した内容を応用する場面が多くありました。

「AI(人工知能)」を作ってみよう」のコースでは、Web上のソフトを使って、画像・音声・ポーズについて機械学習を行い、カメラで撮影したモノの種類や音声を判別するプログラムを作成しました。

「重合反応を使ってレジックラフトを作ろう」のコースでは、プラスチックの製造や接着剤に使われている重要な化学反応の一つ「重合反応」を利用して、オリジナルのレジックラフトを作成しました。

この体験ゼミは県内の企業や工業技術のすばらしさを学ぶ絶好の機会となりました。



「清涼飲料水の分析と試作」コースの様子

◆生命科学体験ゼミ

十二月六日(水)期末試験最終日の午後、事前学習として固体培地を作成し、学校周辺で採取した土や水に生息する微生物の培養を行いました。

十二月十九日(火)から二泊三日、高知大学物産部キャンパス内の遺伝子実験施設にて「微生物の培養・観察」「事前学習で採取した微生物の同定(PCR・DNA塩基配列決定)」「緑色蛍光タンパク質(GFP)遺伝子の大腸菌への導入」の実習に十七名が参加しました。

生物の教科書では内容を取り扱うものの、学校では実施困難な実験・実習(大学生レベルの実験)であるため、大変貴重な体験となりました。キャンパス内の宿泊施設に泊まり込み、大学生協の食堂で食事をとりながら、朝から晩まで、遺伝子や微生物について考える濃密な時間を過ごしました。

実験の空き時間には研究施設・研究室の見学を行ったり、研究室の学生たちと交流したりして学生生活・勉強など、幅広い話をうかがうなどしました。



実習・講義の様子

◆動物解剖体験ゼミ

一月八日(月)成人の日、横倉山自然の森博物館の谷地森先生の協力のもと動物解剖体験ゼミを実施し、三十名が参加しました。

四国自然史研究センターは、様々な野生生物の研究を行っていますが、その一つとして、交通事故などで死亡した個体を冷凍保存し、計測データを採取、研究分析用のサンプルを採取しています。

今回はノウサギ・ハクビシン・ニホンイタチ・シベリアイタチを提供していただき、脳や筋肉の組織・血液・外部寄生虫などをサンプル用に採取しながら、内臓諸器官の配置、形態、内部構造、筋肉の付き方や関節のつくりを観察し、死因

の推定などを行いました。解剖時には、強烈な臭いがしますが、それにも徐々に慣れながら、普段にも見ることのできない様々な器官の色や形、手触り等を観察し、野生生物の解剖の目的とその意義について理解を深める貴重な機会となりました。



解剖実験の様子①



解剖実験の様子②

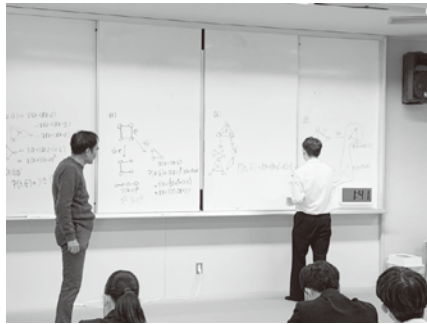
●「短期集中体験ゼミ」
◆数学体験ゼミ

一月二十一日(日)、本校に高知大学教育学部の先生方をお招きして「数学体験ゼミ」を実施しました。代数学・幾何学・解析学の専門分野から六名の先生方が来てくださり、お一人ずつから講義が聴ける大変贅沢なゼミでした。

「数理モデルを用いた将来予測」の講義では、身の回りにおける様々な現象を主に微分方程式を用いて数式化し、それを解くことにより、将来予想の問題解決に活かすものや、「ペンローズ・タイル」の講義では、正五角形の中にある図形には黄金比が隠れており、その図形を使つてのタイリングを体験しました。「なぜ0で割つてはいけないの？」の講義では、数学の公理を用いて、0で割れないことを証明しました。これまで、0で割れないことをルールのようにやっていたことが、証明したことでこれまでの疑問が解消されたという意見もありました。「連続する自然数の和」の講義では、法則を見つけやすくなるためのストラテジーを学ぶとともに、法則からわかっていたことが等差数列の和と関係していることを実感するものでした。大学で学ぶ「トポロジー」や「彩色多項式」についても、実際に

問題に取り組み考え、大学での講義がどのようなものかというのを体験でき、具体的なものを数学化することで数学的に思考できることを実感することができました。

普段の数学の授業とは異なつた視点や数学的な考え方、問題を捉えたり、体験的な活動を通して楽しんだりすることができました。一つの現象を数学化し深めていくことや身の回りの現象を抽象化し考えることで、生徒は多面的な視点で考えることの面白さを感じていました。高校生にとつて数学の世界の広がりを感じた。感じられたゼミになりました。



数学体験ゼミの様子

●サイエンスフィールドワーク
◆理数科一年生

高知海洋コア国際研究所
& 芸西メランジュ
十一月十七日(金)理数科一

年生は南国市にある高知大学海洋コア国際研究所を訪ねました。この研究所は地球深部探査船「ちきゅう」が採取した海洋コアの分析から地球規模の環境変動を研究する施設で、世界の三大コア試料保管施設の機能も有しています。

午前中は、浦本豪一郎先生から研究所の役割や海洋科学における掘削の目的や方法・意義等について説明をしていただきました。また、探査船「ちきゅう」のアイスランド沖での掘削に参加した鈴木拓馬研究員から、当時の様子について具体的な話をお聞きすることができました。

その後、様々な海で採取され冷凍保存されている海洋コアや、実際に研究に使われている海洋コアなどを見学しました。



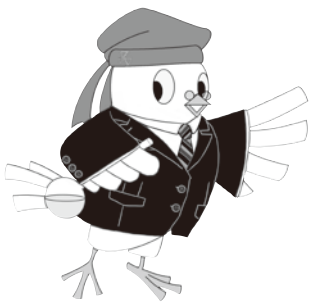
探査船「ちきゅう」について説明を受ける様子

午後からは、安芸郡芸西村にある「芸西メランジュ」と呼ばれる中生代白亜紀前後に堆積した地層の観察を行いました。藤内智士先生から説明を受けた後、生徒たちは、色や模様・硬さ・手触りなどから岩石の種類の見分けに挑戦するなど熱心に活動する様子が窺えました。

過去の地層を研究することで、近未来の地球環境の予測につながるっていることなどを学び、地層や環境に関する知識・意識が高まる体験となりました。



隆起した地層について説明を受ける様子



芸術部門

令和5年度
高知県児童生徒表彰

- 石川 結理 (3-2 H)
- 北村 芽生 (3-2 H)
- 高橋 瑞奈 (3-3 H)
- 石元 萌愛 (3-5 H)
- 古澤 朱夏 (3-5 H)

スポーツ部門

- 濱田 尚人 (3-1 H)
- 尾崎 史龍 (3-5 H)
- 尾崎 勇飛 (3-6 H)



1年生 修学旅行体験記

「修学旅行で学んだこと」 1-1 小松 悠奈

私は新潟と東京へ修学旅行に行き、様々な経験をしました。私が修学旅行で学んだことは主に二つあります。

一つ目は、諦めずに取り組んだら出来るようになるということです。今回の修学旅行で二日半、スキー研修に取り組みました。初日は雪の上で止まる練習や坂を上がっていく練習、カーブを曲がる練習をしました。私はカーブを曲がるのが上手く出来ず、思った方向と反対方向に滑ってしまい何度も転んでしまい初日は心が折れてしまいました。しかし、日付を重ねるうちにだんだんと滑れるようになり、最終日には上手くカーブを曲がれるようになりました。そして、スキーを滑る気持ちよさや楽しさを知ることが出来ました。

二つ目は、責任をもって行動するという事です。私は今回の修学旅行で、新潟のホテルの生活班長、スキー班長を務めました。自分の言動によって班員が困ったりしないようにするため班長会で言われたことを班員に伝えることや次の行動の時間を確認して班員を率いていかないといけません。とても大変なことでしたが、次の行動がしやすく時間に余裕をもって行動できたので充実した修学旅行になりました。

この修学旅行を無事に楽しく過ごすことができたのは、連れて行っていただいた先生方や添乗員さん、カメラマンさんや看護師さんのおかげです。日常的に支えてくれる人への感謝は忘れてしまいがちなので、今回の修学旅行を通して再び周りの人への感謝の気持ちを大切に、これからの高校生活に活かしていきたいです。



「修学旅行で見たもの」 1-3 池田吏輝

私たちは新潟と東京に四泊五日の修学旅行に行ってきました。修学旅行ではたくさんの経験をしました。とくに印象に残ったものは、三日間行ったスキーです。スキーは、人生で初めてするスポーツの一つだったので、初めは転ばないかととても心配でした。

しかし、いざ滑ってみると、とても爽快ですごく気持ちよく、同じ班の友達と教え合ったりするのも楽しかったです。それと同時に自分の班には、少しスキーが苦手な友達がいました。その友達は急斜面から降りる時の恐怖感とずっと戦っているような感じもしましたし、スキーが終わった後の夜では「もうスキーしたくないなあ。」とつぶやいたりもしていました。

彼がくじけそうになった時や転んでしまった時には、班のみんなで「絶対に滑れるようになる。」と声をかけたり、スキーが終わった後の夕食で、みんなでコツを言い合ったりしました。それに応じて彼もみんなと一緒に滑れるよう努力していました。すると、日に日に上達していき、カーブの多い林間コースも滑れるようになっていました。それだけでなく、スキー最終日には、最後まで転ぶことが一回もなく、みんなと一緒に滑りきれしていました。その時には班のみんなで「本当に頑張ったな」、「すごいよ、ここまで上手くなるなんて」などの言葉を掛け合ったりして、彼も一言だけ「ありがとう」と言って、僕たちのスキー研修は終わりを迎えました。

スキー研修を通して、友達と教え合ったり、スキーが苦手だった友達をみんなで励まし合ったりし、また、その友達が人一倍努力し、最後は滑れるようになった所は、普段の学校生活では見ることができない、修学旅行だからこそ見たものだと感じました。

この修学旅行を支えてくれたすべての方々、そして家族、経験したことに感謝します。

四年ぶりの錬歩会

生徒会執行部 体育部長 竹内 涼菜

私たち二年生は四年ぶりの錬歩会に参加しました。当日は悪天候が予想されていましたが、私たちのクラスではてるてる坊主がつくられていました。そのおかげか、錬歩会当日は、雨も降らず、暑くもなく、過ごしやすい一日でした。

歩き始める前はウキウキ、ワクワクした気持ちでしたが、片道九キロメートル、往復で十八キロメートルという距離が予想以上にハードで、何度も挫けそうになりました。しかし、他の生徒に目を向けてみると、歌を口ずさみながら歩いたり、しりとりをしながら歩いたりなど様々な工夫をして歩くことを楽しんでる様子が見られました。そうして、クラスのみんや先生方と一致団結して山頂にたどり着くことができました。頂上に着いた頃にはとてもお腹が空いていたので、友人と食べたお弁当の味がとても美味しかったことを覚えています。

これまでクラスのみんやとゆつくり歩きながら時間を過ごすということがなかったため、この日はとても貴重な一日となりました。もうすぐ私たちは3年生となり、受験という高い山を乗り越えなければならぬので、一歩ずつ歩いたこの経験を糧にこれからの高校生活をより充実したものにしていきます。



三年間皆勤

3-1H

小松 珠 希
濱田 尚 人
保木 円 香

3-2H

泉 芳 音
伊藤 萌 葦

3-3H

伊東 沙 起
清藤 ゆ な
島本 葵
津野 小 桜
中平 健 太 郎
中山 由 瑞
水野 華 帆
吉岡 優

3-5H

岩戸 柚 奈
濱崎 ひまわり
濱田 秀 哉
古澤 朱 夏
安岡 大 翔
矢野 孜 門

3-6H

門田 萌 々 恵
高田 芽 衣
常石 実 里

3-7H

岩下 陽 海
瀬上 夏 生
高畑 湊
西川 海 斗
西笛 裕 人
林 和 冶
渡部 希 望

三年間精勤

3-1H

井之上 洋 士
大野 絢 弥 音
岡本 清 美
竹中 真
弘瀬 由 佳

3-3H

萩野 梨 心
浜田 真 衣
山崎 伶 央 菜
山本 心 美

3-5H

石元 萌 愛
西川 大 翔

3-6H

尾木 青 海
豊嶋 愛 夏 結
増田 心 結

皆勤賞は3年間、無遅刻・無欠席・無欠課の生徒を、精勤賞は3年間無欠席で、遅刻・欠席・欠課数が合計3回までの生徒を対象としています。おめでとうございます。
(令和6年2月27日現在)

令和5年度 学校評価アンケートについて

高知小津高等学校長

本校では、開かれた学校づくりの一環として「学校評価アンケート」を実施しています。本年度も昨年度に引き続き、生徒、保護者等、教職員、小津会等を対象に12月に実施しました。アンケートの実施方法については、昨年度から、GoogleのFormsを利用した回答としました。多くの方々にアンケートに回答していただき感謝申し上げます。

今年度も例年同様に学校の取組について概ね肯定的な評価を得られていると考えます。評価のあまり高くなかった項目やご指摘いただいた事項につきましては、改善の手立てを講じながら、本校のさらなる充実・発展に向けて取り組んでまいります。

本調査にご協力いただきました皆様に心から厚くお礼申し上げますとともに、今後とも本校の発展のためご支援くださいますようお願いいたします。

学校評価アンケート(生徒・保護者等・教職員)集計と分析

回答は、各設問に対し、次の1から5のいずれかを選ぶ方式です。「1」「2」を肯定的な評価と考え、主として肯定的な評価について分析しました。

1：そう思う 2：ややそう思う 3：あまりそう思わない 4：そう思わない 5：分からない

| | | | |
|------|------|---------|--------------------|
| 調査対象 | 生徒 | 803名のうち | 743名回収 (回収率 92.5%) |
| | 保護者等 | 803名のうち | 547名回収 (回収率 68.1%) |
| | 教職員 | 83名のうち | 70名回収 (回収率 84.3%) |

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 無回答

(1) 本校に入学して良かったと思っていますか。
 (保) お子様を入学させて良かったと思いますか。
 (教) 生徒は本校に入学して良かったと感じていると思いますか。

生徒84.8%(昨年85%)、保護者等91.6%(昨年94%)、教職員97.2%(昨年95%)が良かったと感じている。生徒・保護者等・教職員の肯定的評価はほぼ昨年度と同程度となっている。今後も、100%の満足度に向けて取り組んでいく。

| 対象 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 無回答 |
|------|-------|-------|-------|------|------|------|
| 生徒 | 33.8% | 51.0% | 10.9% | 4.8% | 0.0% | 0.0% |
| 保護者等 | 62.5% | 29.1% | 5.7% | 1.8% | 0.9% | 0.0% |
| 教職員 | 28.6% | 68.6% | 2.9% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

(2) 目標をもって学校生活を送っていますか。

生徒83.3%(昨年84%)、保護者等79.3%(昨年85%)、教職員88.6%(昨年86%)である。生徒・教職員の肯定的評価は昨年度と同程度だが、保護者等の評価が少し下がっている。生徒の学年別の肯定的評価は、1年生82.8%、2年生81.2%、3年生86.0%である。例年の傾向では、学年が進むにつれて評価が上がっており、本年度も3年生の数値が最も高く、目標を明確にもって取り組んでいることがわかる。充実した学校生活を送るためにも、より早い段階で目標設定を行うことが必要である。

| 対象 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 無回答 |
|------|-------|-------|-------|------|------|------|
| 生徒 | 43.6% | 39.7% | 14.8% | 2.4% | 0.0% | 0.0% |
| 保護者等 | 44.2% | 35.1% | 17.6% | 2.6% | 0.5% | 0.0% |
| 教職員 | 22.9% | 65.7% | 11.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

(3) 小津高校の授業に満足していますか。

生徒83.6%(昨年82%)、保護者等76.1%(昨年78%)、教職員90.0%(昨年86%)が肯定的に回答している。本年度は休校期間等もなく、授業進度等は例年通りであった。保護者等の評価は若干下がっているものの、生徒と教職員は昨年度から若干上がっている。今後も、生徒の学習状況を把握しながら授業の工夫・改善に努め、ICTなども活用して、生徒の主体的な学びを育てる授業を目指して取り組んでいく必要がある。

| 対象 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 無回答 |
|------|-------|-------|-------|------|------|------|
| 生徒 | 29.6% | 54.0% | 13.5% | 3.0% | 0.0% | 0.0% |
| 保護者等 | 20.3% | 55.8% | 12.6% | 9.5% | 1.8% | 0.0% |
| 教職員 | 17.1% | 72.9% | 10.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

(4) 予習や復習などの家庭学習の取組が達成できていますか。
 1年：平日2時間、休日3時間／2年：平日2～3時間、休日4時間、
 3年：平日4時間以上、休日6時間以上

生徒33.1%(昨年35%)、保護者等39.7%(昨年39%)、教職員30.0%(昨年29%)となっている。1年生は24.9%、2年生は18.4%、3年生は56.9%が肯定的な回答をしており、昨年度と比べて2年生が大きく下がっている。早い段階からの習慣付けが大切であるとともに、基本的な生活習慣を身に付け、学校の活動(授業、部活動、学校行事等)に生徒が主体的に取り組んでいくことが重要である。

| 対象 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 無回答 |
|------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 生徒 | 11.8% | 21.3% | 40.0% | 26.9% | 0.0% | 0.0% |
| 保護者等 | 12.8% | 26.9% | 28.9% | 29.4% | 2.0% | 0.0% |
| 教職員 | 8.6% | 21.4% | 57.1% | 12.9% | 0.0% | 0.0% |

(5) 授業改善に向けて、教材や教え方にさまざまな工夫をしている先生が多いと思いますか
 (教) あなたは授業改善に向けて、教材や教え方にさまざまな工夫をしていますか。

生徒83.3%(昨年80%)、保護者等38.4%(昨年34%)、教職員84.3%(昨年80%)が肯定的に評価している。保護者等の無回答が44.8%と高い。令和3年度から、全てのホーム教室にプロジェクターとスクリーンが設置されるとともに、生徒用タブレットも全生徒分が導入され、活用もずいぶん進んできている。来年度からも、これらのICT機器を活用しての授業改善をさらに進めていく必要がある。

| 対象 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 無回答 |
|------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 生徒 | 33.6% | 49.7% | 13.1% | 3.6% | 0.0% | 0.0% |
| 保護者等 | 9.5% | 28.9% | 13.3% | 44.8% | 3.5% | 0.0% |
| 教職員 | 28.6% | 55.7% | 12.9% | 2.9% | 0.0% | 0.0% |

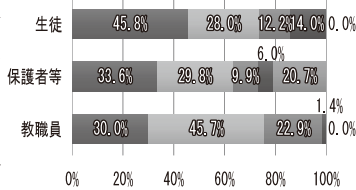
(6) 教育課程(授業)は進路に対応する選択ができるように組まれていますか。

生徒85.4%(昨年86%)、保護者等62.9%(昨年68%)、教職員65.7%(昨年88%)が肯定的に評価している。保護者等の無回答は23.4%である。1年生は93.1%、2年生は81.5%、3年生は82.0%が肯定的な回答をしている。普通科では、コース選択を考えていく1年次に、進路学習や個人面談を重ねていくことが必要である。大学入試等の進路情報を、早い段階から丁寧に生徒や保護者等に提供していくことで、適切な科目選択となるように努め、より高みを目指した進路決定に取り組んでいく。

| 対象 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 無回答 |
|------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 生徒 | 41.9% | 48.5% | 11.7% | 3.0% | 0.0% | 0.0% |
| 保護者等 | 20.5% | 42.4% | 11.3% | 23.4% | 2.4% | 0.0% |
| 教職員 | 17.1% | 48.6% | 27.1% | 7.1% | 0.0% | 0.0% |

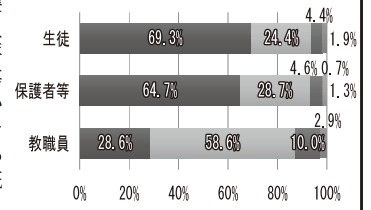
(7) 本校が定期的(月1回)に実施している服装・頭髪の指導は適切だと思いますか。

生徒73.8%(昨年75%)、保護者等63.4%(昨年61%)、教職員75.7%(昨年77%)が肯定的に評価している。生徒・教職員ともに若干減少し、保護者等の無回答も20.7%と多い。来年度からの新制服導入に伴い、校則等の見直しも検討しながら、学校として全教員で統一した指導を行っていく。



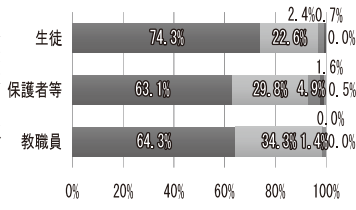
(8) 本校は遅刻指導、挨拶指導など基本的生活習慣の確立に力を入れていますが、校則を守り、規則正しい高校生活を送っていますか。

生徒93.7%(昨年96%)、保護者等93.4%(昨年94%)、教職員87.2%(昨年84%)が肯定的な評価をしている。生徒・保護者等から、ともに高い評価を得ている。生徒が自覚ある高校生活を送っているということでもあり、今後も、指導の充実と徹底を行っていく。



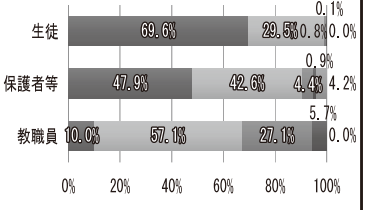
(9) 学校行事(ホームマッチ、文化祭、体育祭など)に、意欲をもって取り組んでいますか。

生徒96.9%(昨年96%)、保護者等92.9%(昨年89%)、教職員98.6%(昨年100%)が肯定的な評価をしている。真摯に学校行事へ取り組む生徒の姿勢や、積極的に学校行事へ参加する生徒の意欲の高さが表れている。保護者等には、本年度からは行事等での入場制限もなくなり、150周年記念式典や若鳩祭、ミニ体育祭等で生徒の頑張る姿を見てもらえたことがよかった。今後も、学校行事等の内容の充実を図るとともに、工夫改善に努めていきたい。



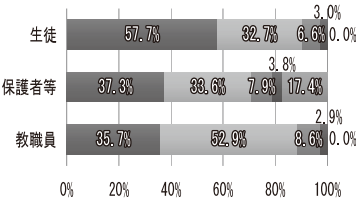
(10) 本校は交通マナー向上のために、街頭指導など交通安全指導に力を入れていますが、交通マナーを十分守っていますか。

生徒99.1%(昨年99%)、保護者等90.5%(昨年91%)、教職員67.1%(昨年71%)が肯定的な評価をしている。大部分の生徒は交通ルールを遵守しているが、一部の生徒の自転車マナーの悪さや、通学時の事故が多い現状もみられる。今後も、警察署や交通安全協会、地域の方々とも連携し、交通安全教室や生徒会役員・交通自治委員を中心とした交通安全に関する活動を継続し、さらなる交通安全教育の充実を図っていく。



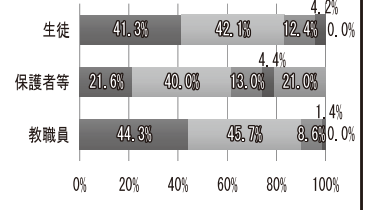
(11) 本校は、適切に部活動の指導を行っていますか。

生徒90.4%(昨年92%)、保護者等70.9%(昨年79%)、教職員88.6%(昨年84%)が肯定的な評価をしている。保護者等の無回答は17.4%である。本年度からは、新型コロナウイルス感染症対応による部活動の練習時間等の制限はなくなり、生徒・保護者等の肯定的な評価が若干下がっているものの、おおむね適切な指導が行われていることが窺われる。今後も感染症やケガ等への対策も徹底し、文武両道の質の高い教育を目指し、指導の充実を図っていく。



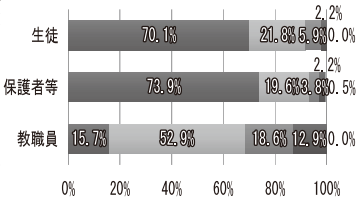
(12) 本校は、生徒一人ひとりに適したきめ細かい進路指導を行っていますか。

生徒83.4%(昨年85%)、保護者等61.6%(昨年70%)、教職員90.0%(昨年88%)が肯定的な評価をしている。保護者等の無回答は21.0%である。生徒・教職員の評価に比べ、保護者等の肯定的な評価が少し低かった。今後も、最新の進路情報を収集し、さらにもっときめ細かい情報の伝達を行うとともに、指導方法についても工夫・改善をしていく。



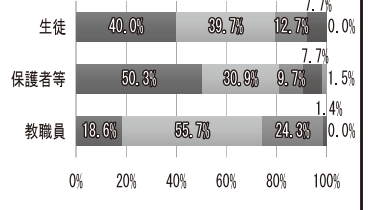
(13) 本校の進学補習(土曜補習)を、毎回受講していますか。

生徒91.9%(昨年95%)、保護者等93.5%(昨年93%)、教職員68.6%(昨年71%)が肯定的な評価をしている。生徒の学習への意欲は高く、保護者等の関心も高いと思われる。今後も、生徒の進路実現に向けて、授業・補習の充実と課題に対する取組の充実を図っていく。



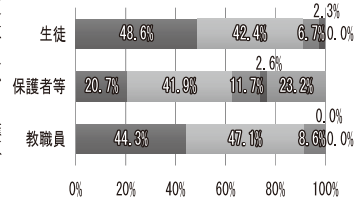
(14) 本校から配付している連絡文書、案内文書、学校通信「若鳩」はご家庭に届いていますか。

生徒79.7%(昨年79%)、保護者等81.2%(昨年81%)、教職員74.3%(昨年88%)が肯定的な評価をしている。生徒や保護者等の回答から、約2割の家庭に連絡文書等が十分に届いていない現状が確認できる。保護者等あての文書は、本校ホームページに掲載したり、「すぐる」でも配信したりしている。また、ホームページには学校での活動についても掲載しているので、定期的にご覧いただきたい。文書は、学校と家庭の情報共有を図るうえで大切な手段であるため、生徒にも重要なものという意識付けを徹底していく。



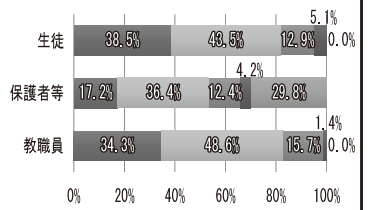
(15) 本校は、進路指導に必要な進路教材・資料の提供は十分であると思いますか。

生徒91.0%(昨年91%)、保護者等62.6%(昨年66%)、教職員91.4%(昨年93%)が肯定的な評価をしている。保護者等の無回答は23.2%である。生徒からは一定の評価をいただいているが、保護者等の肯定的な評価が少し低く、無回答も多い。大学入学共通テストや各大学の入試について、不安を感じる保護者等が増えていると思われる。生徒・保護者等にとって進路決定の参考となるよう、さらなる情報提供の工夫をしていく。



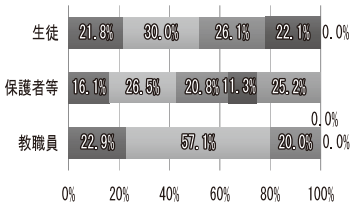
(16) 本校は、生徒の悩みについて、相談できる体制づくりができていると思いますか。

生徒82.0%(昨年94%)、保護者等53.6%(昨年58%)、教職員82.9%(昨年86%)が肯定的な評価をしている。保護者等の無回答は29.8%である。今後も、生徒・保護者等に向けて、本校における相談・支援体制を周知していくとともに、今まで以上にスクールカウンセラーとの相談しやすい体制づくりと、校内や外部の関係機関との連携を密にすることが必要である。



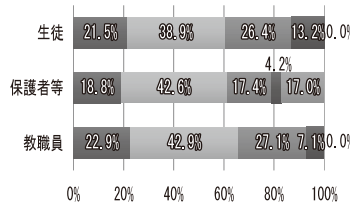
(17) 本校は、スーパーサイエンスハイスクール(S S H)の指定を受け、課題研究発表や体験ゼミなど各種の取組を行っていますが、積極的に参加していますか。

生徒51.8%(昨年46%)、保護者等42.6%(昨年44%)、教職員80.0%(昨年68%)が肯定的な評価をしている。保護者等の無回答は25.2%である。外部からは取組の様子が見えづらい面もある。今後も、学校側から積極的に情報発信していくとともに、本校のホームページにも、S S H活動の様子を写真等も交えて掲載しているので、ぜひご覧いただきたい。



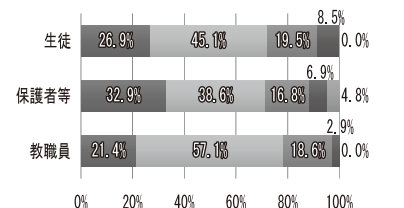
(18) 本校は、50分7限授業を行っていますが、学力面で効果を上げていると思いますか。

生徒60.4%(昨年57%)、保護者等61.4%(昨年64%)、教職員65.8%(昨年61%)が肯定的な評価をしている。生徒・保護者等ともに評価が低い傾向が見られるので、今後も、授業において確実な学力を身に付けさせるとともに、模試の結果や進学実績においてもその効果が発揮できるよう、教科指導の充実に継続して取り組んでいく。



(19) 地域や保護者の皆様にとって来校しやすい学校だと思いますか。

生徒72.0%(昨年68%)、保護者等71.5%(昨年71%)、教職員78.5%(昨年77%)が肯定的な評価をしている。生徒・保護者等ともに昨年度と比べると若干上がっている。地域の方々や保護者等の期待に応えられるよう、環境美化も含め進学実績を上げるとともに、文武両道の質の高い教育を目指して、学校全体で取り組んでいく。



小津会等の皆様のアンケートの結果 18名のうち 15名回収(回収率 83.3%)

小津高校に期待する事項について、11項目の中からの選択をお願いしました。集計結果は下のとおりとなります。「進学・就職希望に応える教育をする」の項目は、昨年度同様、最も多くの方が選択されています。「分かりやすい授業をする」、「社会のルールや決まりの指導に力を入れる」、「学校行事や部活動を充実させる」、「教職員の資質・指導力を向上させる」の項目は、順位が入れ替わっていますが、上位5つまでには昨年度と同じ項目が挙げられています。自由記述欄には、「歴史の事件や化学・数学の原因・原理を教える、考えさせる。」、「やっぱり学校は明日も行きたいと思える場所であってほしい。そんな学校づくりを。」、「小津高校に入学してよかった、兄弟姉妹や後輩にぜひ勧めたいと思われる学校になってください。」といったご意見がありました。今後もチーム小津として、保護者等や地域の方々の期待に応えるべく、一層の取組の充実を図り、教員の指導力の向上、総合力の高い学校を目指すとともに、社会に通用する人材の育成に尽力したいと考えています。

これからの小津高校に期待すること (3つ選択で上位5つまで)

- 1位 進学・就職希望に応える教育をする (昨年1位) 10名 (66.7%)
- 2位 分かりやすい授業をする (昨年3位) 6名 (40.0%)
- 2位 社会のルールや決まりの指導に力を入れる (昨年3位) 6名 (40.0%)
- 2位 学校行事や部活動を充実させる (昨年5位) 6名 (40.0%)
- 5位 教職員の資質・指導力を向上させる (昨年2位) 5名 (33.3%)



◆第69回高知県青少年読書感想文コンクール (高知県高等学校学校図書館協議会)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|
| 大元 | 太内 | 小笠原 | 原納 | 加納 | 山崎 | 中野 | 岩本 | 山本 | 小松 | 野村 | 藤本 | 柿本 | 藤澤 | 濱田 | 入選 | 松本 | 優良 | 寺村 | 最優秀 |
| 彩奈 | 秀洋 | 冬苗 | 有由 | 柚葉 | 瑚楓 | 虎春 | 太郎 | 愛莉 | 咲輝 | 明日望 | 晃成 | 彩花 | 千咲 | 湊歩 | | 菜々佳 | | 有加 | |
| (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (2) | (2) | | (2) | |
| 7) | 7) | 6) | 5) | 4) | 3) | 2) | 1) | 7) | 7) | 4) | 3) | 3) | 2) | 2) | | 2) | | 5) | |

本年度は最優秀賞一名、優良賞一名、入選十五名という結果となりました。

